京都文教大学大学院臨床心理学研究科－博士後期課程 －

「英語」正答例

問1

トラウマで苦しんでいる人の苦しみを治療の対象として見すぎることなく、その人の人生全体を視野に入れて理解しようとする姿勢が必要だということ。(69字)

16
32
48
64
80

問2

さらに、医療分野および社会福祉分野の双方において、避けられたはずのケアや

過剰なコストを減らすことにもつながります。

問3

下線部(3)の日本語訳

しかし実際には、医療者や医療システムが、組織文化全体の変化を支える十分な

基盤がないまま、臨床の現場だけでこのアプローチを導入しようとすることが

少なくありません。

この内容の結果、生じること

日々の業務における変化は不均一になり、しばしば持続可能性を欠くことになる。
また、このような臨床中心の狭い視点では、受付スタッフや警備担当者といった
非臨床スタッフが、患者と重要な関わりを持っているという事実が見落とされがちに
なる。(114字)

16
32
48
64
80
96
112
120

問4

医療やケアの場面そのものによって苦痛を感じたり、再トラウマ化されたりすることを
避ける必要性

問5

身体的・性的虐待のサバイバーを対象としたトラウマ・インフォームド・ケアに関する 既存研究を検討し、文献を統合的に整理することである。(65字)

16
32
48
64
80

問6

ケア提供者、すなわち医療者を含め、ケアにかかわるさまざまな援助専門職

問7

・トラウマのスクリーニングと患者による開示
・ケア提供者と患者の関係性
・苦痛を最小限に抑え自律性を最大化すること
・多職種連携および他機関への紹介
・多様な場におけるトラウマ・インフォームド・ケア